



TOCO-TON 明科

No. 53 R7. 12. 25 発行
TOCO-TON 指導主事

1 明科中『45分授業+まなびの時間』 12月11日(木)~16日(火)

1学期の校長講話で行った生徒のアンケートに、「わからないことを聞ける場がほしい」「自分のペースで学習できる場がほしい」「復習の時間を確保してほしい」といった回答がたくさんありました。また、職員の話し合いの中で、生徒に「主体的に学んでほしい」という願いがありました。そこで、今の学校生活の時間を工夫してどうにかでいいか考え、全学年『45分授業+まなびの時間(30分)』という日課での取組を行いました。「まなびの時間」が、生徒の願いにあわせて設定した時間です。試行期間は4日間です。

「まなびの時間」で行いたい内容については、生徒にアンケートをとり、全員の希望を把握した上で、職員が調整して決定しました。大きく分けて講座は11あり、人数が多い講座については、メンバーを幾つかに分け、どの講座も最低1名は職員がつきました。計画された4日間の内容を見て、生徒は自由に講座を選びました。生徒の意向を大切にし、4日間同一講座を継続しても、日ごとに変える等しても良いこととしました。

生徒の願いを受けて実施した「まなびの時間」については、生徒・職員・保護者からの声をもとに、3学期そして来年度に向けて更に検討をしていきます。子どもを真ん中にした取組の一つとして、また一步踏み出した明科中です。

まなびの時間がありました。初めての試みでどうなるかなあと思っていましたが、自分でやることを決めてそれぞれの講座で充実したまなびができたようでした。最終日は都合があり、理科の講座は、「ゆっくり過ごす」を選んだ人たちとホールで行いました。読書を選んだ人も含めて3つの講座の人が一緒にいましたが、様子を見ていると、「ゆっくり過ごす」を選んだ人たちも、思い思いに学習に取り組む姿が見られました。てっきり寝て過ごすのかなと思っていたが、教科に縛られずに、自分のペースで学習に取り組むこともゆっくりの意味の中にあるのかなと思いました。自分で選んだからこそ、自分の時間を大切にする、そんな様子が見られてとてもいい時間になりました。自分で選ぶって大切なことですね。(3年学級通信から)

<講座の内容(4日間のうち12/16の内容)>

国語	社会	数学	理科	音楽	美術
個々にやりたい課題について質問対応	・基礎からゆっくりコツコツコース ・発展・深掘りコース	生徒の取り組んでいる課題に対しての質問対応	コース①実験 コース②物理・科学分野	器楽 ～音が出る仕組みを理解して演奏しよう②～	本人の希望に添った内容(様々な画材への挑戦等)
保健体育	技術	家庭科	英語	読書・ゆっくりすごす	
バスケットボールなど、集まったメンバーで相談して活動内容を決める	ロケットストーブを作ろう②	食分野:茶道 緑茶から見える食文化について説明・提案と茶を点てる体験	長文読解のコツと練習・英会話 英文のつくり・英文法・音声面強化	読書や自習等、自分で過ごし方を考えて行う	

＜講座の様子＞



＜学びの時間ふり返り（ふり返りカード及び生活の記録から）＞

茶道を学びました。去年豊科高校の文化祭に友だちと行ったとき、茶道部を見て、とても興味が沸いたので家庭科を選びました。お茶のたて方や種類など、自分の知りたかったことが知れたので嬉しかったです。

今日のまなびの時間は英語を選択しました。ケビン先生たちと会話をしました。普段は英語で会話することあまりないので、良い経験になりました。

先生に聞くのはとても緊張しましたが、聞いたおかげで新たに知ることがあったので良かったです。そして、自分の苦手なことに徹底して向き合うことができたので、もっと積極的に質問するようにしたいです。

体育で初めてホッケーをやりました。ステイックが思ったより軽かったです。打ち返すのがよく分からなくて、変な方向へ行ってしまうので、よく練習したいです。

油絵を4時間やる中で、新しくやってみたいことに挑戦できて嬉しかったです。今まで触れたことのある画材と全然違いました。かき上げられて良かったです。

自分の学びたいことを知ろうというテーマで、他学年とも一緒に学びました。自分の知らなかったことや、分からぬ・できないことが、まなびの時間が終わったあとに、できたに変わっているといいなと思いました。

私は音楽を選択し、上手に歌を歌うためのポイントを学びました。一人一人でどのように歌えるようになりたいかが違うので、一人ずつ分かれて歌う練習をしました。足を開き、うでと体の間に少し隙間をつくってリラックスして歌うと、いつもより楽に大きな声がでて、響く声になりました。自分の歌声を追究できました。